



2019年1月吉日

各位

大阪市中央区久太郎町3丁目2番10号
南本町エクセルビル401号室
株式会社 SIRC
代表取締役 平澤 大

【プレスリリース】

SIRC が総額約 3 億円の資金調達を実施いたしました

3mm 角のスマートチップ「SIRC デバイス」を活用した IOT ソリューション及び AI エッジコンピューティングソリューションを提供する株式会社 SIRC（サーク）（大阪府大阪市、代表取締役 平澤大）は、業務提携先の事業会社およびベンチャーキャピタルを引受先として総額約3億円の第三者割当増資を実施したことを発表いたします。

【資金調達の目的】

当社は、SIRC デバイスを活用した超小型スマートタップ、アナログメーターIOT 装置、バッテリー監視装置の量産段階に入りました。この度調達した資金は、製品量産化に係る費用およびアプリケーション開発に係る新たな人材を採用するために活用します。

さらには、2018年11月末より SIRC デバイスを活用した発電所設備の状態監視に関する実証試験を開始しており、本調達金額の一部を活用して 2019年3月までに IOT ソリューションの実証を完了する計画です。

【株式会社 SIRC について】

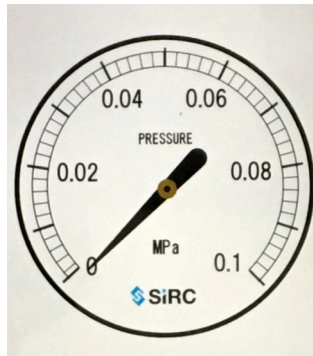
株式会社SIRCは大阪市立大学発ベンチャーとして、文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による「大学発新産業創出拠点プロジェクト（以下、START）」の支援を受け、2015年2月18日に設立いたしました。

当社のコア技術である磁性薄膜を活用したセンサモジュール（SIRC デバイス）は、1つのセンサで4つの機能を発揮出来るマルチデバイスです。センサチップ部分は3mm 角チップと超小型であり、電流、電力、角度、周波数抽出という機能を発揮します。当社は、特許技術を活用したセンサチップの開発に加え、アプリケーションに応じた周辺回路の設計を行うことで、高付加価値センサモジュールを開発し販売いたします。

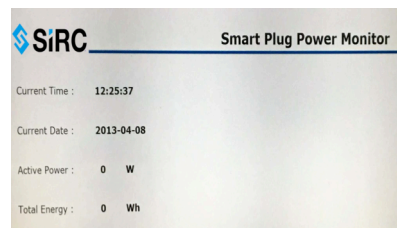
また、用途に応じて、センサ周辺部分のニーズ（通信、ソフト）にも対応していくことで、IoT 時代のキーデバイスを提供しつつ、システムソリューションの提供を行います。これにより、将来的にはモジュール販売よりも付加価値が高いソリューションプロバイダーとしてのビジネス構築を目指して参ります。

さらには、自動運転、EV 時代に、自動車内外の障害物や人の検知、電動化に必要な適切なエネルギー管理技術の重要性が増す中、SIRC デバイスの超小型マルチデバイスの機能が注目されてきており、2020 年以降の EV や自動運転自動車にコアデバイスとして搭載されることを目標に、大手企業とのタイアップによる技術開発を進めております。

圧力計 IoT 装置 及び 表示画面



超小型スマートタップ 及び 表示画



【引受先について（50音順）】

（事業会社）

高砂熱学工業株式会社

明光電子株式会社

（ベンチャーキャピタル）

SMBC ベンチャーキャピタル4号投資事業有限責任組合（SMBC ベンチャーキャピタル株式会社）

合同会社K4 Ventures（関西電力株式会社）

テックアクセル1号投資事業有限責任組合（合同会社テックアクセルベンチャーズ）

みずほ成長支援第2号投資事業有限責任組合（みずほキャピタル株式会社）

【会社概要】

会社名 株式会社 SIRC（英文表記：SIRC Co., Ltd.）

所在地 大阪府中央区久太郎町3丁目2番10号 南本町エクセルビル401号室

代表者 代表取締役 平澤大

事業内容 SIRC デバイスを活用した製品開発および販売、省エネルギーソリューションの提供、乗算デバイスを活用した研究開発事業

資本金（増資後） 570,140,000円（資本準備金含む）

設立 2015年2月

ウェブサイト <http://www.sirc.co.jp>

【本件プレスリリースに関するお問い合わせ先】

広報担当

電話 06-6484-5381

info@sirc.co.jp